

青森ねぶた祭りとねぶた師

実施日：平成30年10月26日～31日 於：マレーシア（クアラルンプール）、韓国（釜山）

■ 派遣専門家



北村 春一

青森ねぶた若手制作集団「ねぶた屋.com」所属ねぶた師

会社勤めの経験を経て2007年、ねぶた師である父・北村蓮明氏へ弟子入り。叔父は第6代ねぶた名人・北村隆氏。2011年「正義の神 阿修羅の怒り」で青森ねぶた祭りにデビューして以降、継続して作品を出展。2018年8月に開催された青森ねぶた祭りでは、20点を超える大型ねぶた作品の中で、出展した「西王母の祝福」が知事賞を受賞。ねぶたの技法を体験できるワークショップを開いたり、人気映画「スター・ウォーズ」シリーズをかたどったねぶたを製作する等、ねぶたの継承と作り手の育成に取り組んでいる。「ねぶたの世界に常に対峙して自分の人生を考えていきたい。」と語るプロの若手ねぶた製作者。

■ 事業概要

● マレーシア（クアラルンプール）



（左・中央）ペトロナス・ギャラリーでのワークショップ、（右）王宮博物館での講演

● 韓国（釜山）



（左・中央）釜慶大学でのワークショップ、（右）交流会

■ 実施結果

青森でねぶた師として活動されている北村春一さんが、マレーシアと韓国を訪問しました。講演では、ねぶたの起源、歴史、製作工程等を解説し、迫力のある祭りの模様を映像を用いて紹介しました。また、ワークショップでは、ねぶたの技法を使ったミニランプシェード作りに参加者が挑戦。10段階あるとされる、ねぶたの製作工程のうち、「紙はり」、「書割（墨書）」、「ろう書き」、「色付け（彩色）」の技法を体験学習しました。韓国では、ねぶた祭りに類似した現地の灯籠祭り関係者や、韓紙工芸作家と交流しました。ねぶた祭りの地元の青森をはじめ、日本の地方の魅力を発信する良い機会となりました。